

## 遠野のひな祭り

「遠野町家のひなまつり」が三月一日から五日まで開催されます。城下町として栄えた遠野の町家に伝わる由緒あるひな人形や骨董を見て歩いたり、町家のおかみさんたちのもてなしを満喫することができ、毎年多くの観光客が訪れます。

今回は、遠野のひな祭りの謎をご紹介します。

**Q1 ひな祭りに五月人形も飾るのはなぜ？**

遠野ではもともと、五月節句に人形を飾る習わしがなく、三月節句と一緒に飾ったといわれています。

江戸や京都から来る豪華な衣装のひな人形や、遠野や花巻産のさまざまな土人形、錦絵などを飾るので、ちよつとした美術展覧会のような雰囲気と伝えられています。

**Q2 ひな菓子とはどんなもの？**

遠野ではひな団子と呼ばれるウサギや果物、花などをかたどって、あんを入れた団子を作ります。これは遠野や花巻周辺など、ひな祭りの盛んな地域独特のもので、



館林家(仲町)のひな飾り

もちを作ったり、桃の枝に家族の人数分の団子を刺し、門口に飾る家もあったそうです。桃の木は災いをはらい、不老不死と多産のシンボルであったことから、桃の節句には家族の安全と繁栄を祈ったのでしよう。

**Q3 おひな見かまつたきとは？**

三月三日に女の子たちが、町家のおひな様を見て歩く習慣を「おひな見」といいます。訪問を受けた家では白酒や菓子、すしなどを振る舞いました。

また、子どもたちが川辺などにかまどを作り、食べ物を煮炊きするのが「かまつたき」です。ひな祭りは川で身を清め、飲食をして災いをはらう中国の風習が始まりであり、かまつたきも三月節句の行事の一つと見ることができるとはいいでしょう。

## 金銅装双塔文 笈



県指定文化財  
所在地 綾織町向  
所有者 阿部波雄さん

笈は山伏が修行に必要な仏像や仏具、衣類などを入れて持ち歩く箱で、背負ってリュックサックの働きをします。

この笈は室町時代の作といわれ、山形県の出羽三山を信奉する山伏の一派である羽黒派の遠野郷でのリーダー的存在であった慈聖院に伝わってきたものです。

## 遠野風土記

笈の大きさは、高さ八三・六センチ、幅七一・六センチ、奥行三五センチです。楓材を使用し、下には外開きの四本足がついています。内部は棚板を張り上下二段に分け、上段は観音開きの扉になっています。

正面には全面に金銅の飾板を張っていますが、そのほかの面に装飾はなく黒塗りのままです。正面の飾板は金銅板を打ち出し、さらに上から線彫りをして、さまざまな文様が施されています。扉に描かれた二つの五重塔の中には、釈迦如来と大日如来の二仏が、両側の扉には勢至菩薩と観音菩薩がそれぞれ描かれ、正面の雲上小仏と合わせると、阿弥陀如来が脇侍の勢至と観音菩薩や諸菩薩を従えて臨終の人間を極楽浄土に迎える様子を示しているといわれています。また額には地藏菩薩、不動明王、毘沙門天、將軍地藏といった古代の東北地方を平定した坂上田村麻呂にゆかりのある仏も描かれています。地文に配した松・梅・藤の植物文様や、鹿・猿・兎・鶴・亀の動物文様も生き生きと描かれています。状態が良好で完存に近いことや、東北的な文様が施されている点で注目すべき遺品です。

## 市長 ひなまつり さわやかに 遠野旋風

遠野高校サッカー部の活躍を伝える全国紙の切り抜きが私の手元に届きました。届け主は、首都圏在住の同窓生の方でした。「耐えて一撃」「旋風止まらない」「雪国の意地」「劇的ロスタイム」そして「不屈の魂国立に刻む」「勇姿ありがとう」といった大きな見出しが紙面いっぱい躍っていました。あらためて感動しました。

国立競技場で行われた準決勝の試合には、市民の皆さんと一緒にバスで往復し、懸命に声援を送りました。ひた向きに、あきらめず、仲間を信じて強豪を連破していく選手諸君の姿に皆さんも感動したのと思います。

遠野の里に春の訪れを告げる遠野物語ファンタジーが始まります。景気回復の声も聞こえますが、地方にはその実感がありません。しかし、遠高イレブンの活躍とファンタジーの舞台はわたしたちの「心の所得」を増やしてくれました。この「感動」と「やれば出来る」の気概を大切にしたいものです。(本田敏秋)

## 2月行事予定

- ◇遠野の産業が元気になるセミナー 8日(木)①午後1時 宮守総合支所第2会議室 ②午後4時 遠野商工会研修室
- ◇市内小中学校環境・科学研究発表会 10日(金)午前9時 あえりあ遠野中ホールほか
- ◇第33回保育のつどい 11日(土)午前9時 市民センター大ホール
- ◇第50回市民スキー大会 11日(土)午前9時 赤羽根スキー場
- ◇どぶろく研究東北大会 18日(土)午後1時30分 あえりあ遠野交流ホール
- ◇いわてナベナベサミット 18日(土)午後5時30分 たかむろ水光園芸館
- ◇教育委員会定例会 17日(金)午後1時30分 市民センター第2会議室

## シリーズ 2 野の草・木 セイダカアワダチソウ きく科



紅葉が始まるころから晩秋にかけて、大急ぎで黄色い花を咲かせます。

第二次世界大戦後、日本に入ってきた北米原産の帰化植物で、道路脇の土手や河原に多く見られます。繁殖力が強く、近年よく目立つようになりました。

名前の通り、茎の高さが1~2.5

メートルもあり、茎は花の部分を除いて枝が分かれしません。

秋には昆虫の蜜源になっています。ブタクサと並んで花粉症の原因にもなっているようです。

炭田地帯ではヘイザンソウ(閉山草)と呼んでいるとのこと。(上組町・青柳恵之)

## 図書館・博物館だより 62-2340

- ◆**◆新着図書**
- ◆一般向け
  - ▽海と川の恋文(松本侑子)▽カボネ(佐藤賢二)
  - ▽夢のカルテ(高野和明)
  - ▽おまかせハウスの人々(菅浩江)▽暗い国境線(逢坂剛)▽ゴーでいこうぜ(ヒキタクニオ)▽ふふふ(井上ひさし)▽夏の響き(佐藤洋次郎)
  - ▽激走福岡国際マラソン(鳥飼杏宇)▽貝の帆(丸山健二)
  - ◆子ども向け
    - ▽中央アジアの鉄道(秋山芳弘)▽楽聖ベートーヴェン(さいとうみほ)
    - ▽サッカー(こどもくらぶ)▽シップ船長とゆきだるまのユキちゃん(かどのえいこ)▽はしれ!たくはいびん(竹下文子)
  - ◆**◆催し物案内**
  - ◆博物館講座「近世初頭の政治と女性」八戸南部氏清心尼を中心に▽2月25日(土)午後1時30分
  - ▽図書館視聴覚ホール▽講師||聖和学園短期大学助教授 菊池慶子氏
  - ◆ひな祭り講演「源氏物語の春について」▽3月4日(土)午後1時30分
  - ▽図書館視聴覚ホール▽講師||市博物館長 石井正己
  - ◆子ども映画会▽3月4日(土)午前10時30分
  - ▽図書館視聴覚ホール
  - ◆**◆移動図書館**
  - ▽10日||アパレル・馬の里▽15日||青笹町▽16日||上郷町▽21日||土淵町▽22日||TKR・YDK・石上の園▽23日||SMC・上郷児童館▽24日||達磨部・鱒沢地区▽28日||宮守地区▽3月1日||綾織町▽2日||松崎町▽3日||附馬牛町▽7日||小友町
  - ◆**◆寄贈者(敬称略)**
  - ▽鈴木南水▽池上健治▽菊池由次郎▽市老人クラブ連合会▽菊池一晃▽山口恵子▽高橋道子▽白金幸男
  - ◆**◆休館日**
  - ▽図書館・博物館||13日、20日、27日、28日、3月6日
  - ◆**◆図書館の開館時間を延長します**
  - ▽3月末までの毎週金曜日、開館時間を1時間延長し、午後6時まで開館します。

## おすすめしたい本



「私は美人」 酒井順子 著

美人とは一体何なのか?美人を目指すにはいられない女性の行動と本音を徹底的に分析。著者の鋭い観察眼に思わずうざを打ってしまふ一冊です。



「もったいないばあさんがくるよ!」 真珠まりこ 著

野菜のへた、スイカの皮、鉛筆の芯...。普段は捨ててしまふ物でも、もったいないばあさんの手にかかればごみに出さずにフル活用。物を大切にする気持ちを学べる本です。